



2024年度

Peach Women's Business School

第2回

登壇者：ピーチコーポレーション株式会社

代表取締役社長 松田 真理(旧姓 酒井)

講演テーマ：「アウェアネス」



※ アンケートは受講者の回答をそのまま転記しております

2024年度PWBS 第2回アンケート集計結果

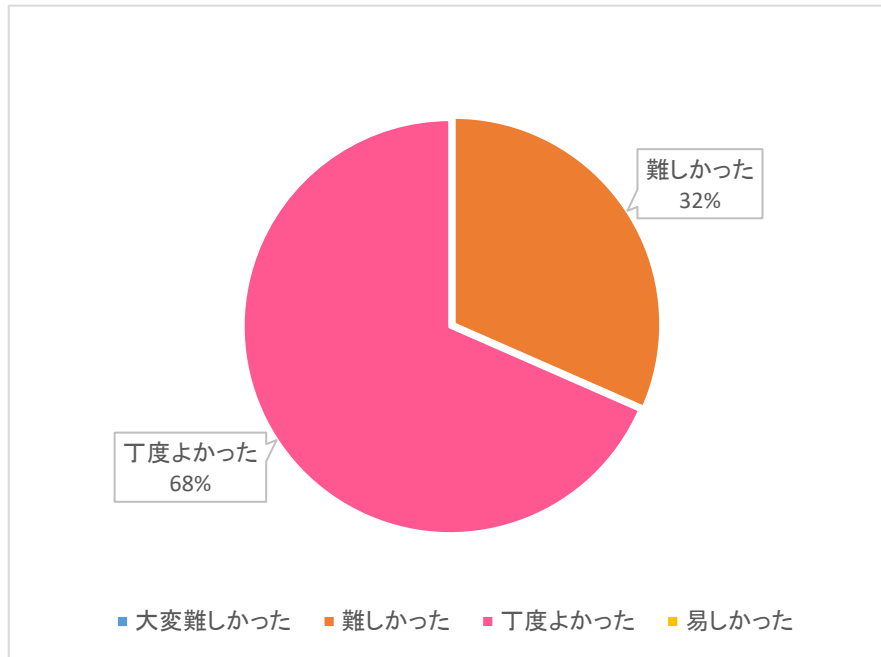
研修日：2024年6月13日(木)

登壇者：ピーチコーポレーション株式会社 代表取締役社長 松田 真理(旧姓 酒井)

講演テーマ：「アウェアネス」

(1) 本日の講義の難易度はいかがでしたか。

【大変難しかった 難しかった 丁度よかった 易しかった】



(2) 上記の理由と本日の研修の感想をお聞かせください。

講義の内容については、とても理解しやすかったです。これからの研修の土台になるような意識づくりができました。今後の学びがより楽しみになりました。

一方で非常に難しかったのは、時間内での発表や、そのために言葉をまとめることです。頭をフル回転させていると、3時間はあっという間に過ぎていくのだと感じました。全員の発表も聞いて、見習いたいことが沢山ありました。しっかり振り返り、次に活かしていきます。

最初アウェアネスと聞いた際難しい概念だと感じましたが、講義を通じて非常に分かりやすくご説明いただけました。

自分がいかに反動的であったかに気づくと同時に、社内で自分が尊敬する方は皆さん自身の価値観に基づいた意見を持ち、主体的で、いつも穏やかであると改めて感じました。

業務の範囲にとどまらずに日々知識を吸収し、自分の頭で考えることで価値観を醸成し、主体的な人生を送りたいと思います。

理解できている内容と、新たに学ぶ内容の両方があったため、難易度は丁度よかったと感じています。

一方で、「理解できている」と思っていた内容も、研修の中で改めて定義したり違う視点から見ることで新たな「気づき」があり、常に問題意識をもって考え続けることの大切さを学びました。

また、女性管理職が少ないという現状を、会社の風土や仕組み、他者のせいにするのではなく、その環境を自分が管理職になって変えるんだという強く前向きな気持ちと周りを巻き込んで成果を出す力が自分には必要で、今後身に着けていきたいと感じました。

内容というより、自分の意識との違いの自覚・認識を改めたりアップデートしたりといった事項について、難しいと感じた。

今まで考えたことの無かった事項、または無自覚に思い込んでいた事項などについて、「気づき」が多く、いかに漫然と過ごしていたのか、という学習になった。

常に問題意識を持ち、自分の考えを的確に・的確な人物に伝えられるよう努力していきたいと感じた。

先生の講義はとても面白かったが、時々、先生も年代的な考えなどに縛られているのでは、と思うこともあった。例えば、パラダイムのSTEP 1 について、「あなたが」の例として「お母さんがやってくれないから」とおっしゃっていたが、お母さんでなくてもいいのでは？と感じた。実際そのほうが多いとは思いますが、「親が」でも「保護者が」でもいいのかな、とったりした。

また、「みんなが私に、社長になったらいいよ、と言ってくれた」とおっしゃっていたが、先生のいう「みんな」とは誰だろう、と感じた。（周辺に理解者しかいないという状態はないと思うので）

アウェアネス講義は、自身と向き合うことができる貴重な時間でした。
知識、スキル、やる気の3要素を意識し続ける事が重要という事で、
知識としては、財務会計やマーケティング戦略思考を本講義で習得したいと思います。
また、やる気は、昇格により権限が広がる事で、視野やできる事業の幅が広がる事が、やる気を向上につながると考えています。
本研修期間では集中的にサイクルを回して自身の実力を積極的に向上させたいと思いました。

正直難しかったですが、今までの仕事の仕方・考え方を見直す良いきっかけになりました。
今まで物事を進める上で自身の「主体性」をあまり意識したことはありませんでした。急に変わることは出来ませんが、変わっていきたく思いました。環境に左右されず「自己」を持ち、自分がどうなりたいかを考えて自ら行動するよう心掛けていきます。
また、今まで人に頼ることはネガティブなイメージでしたが「一方的に頼ること」と考えず「相互依存」＝「関係者がWinWinに」で大きな成果を出す、「私」ではなく「私たち」という考え方に交換していきたく思っています。
「アウェアネス」という言葉を今回初めて聞いて、これから研修に参加していくにあたり、常に心に留めておきたいと思っています。

これから1年の研修をはじめるとの心構えや、最終的な目標をたてることができ、「現在の自分」と「1年後の自分」との間のギャップを埋める為にも、常に考え・問題意識を持って取組んでいこうという気持ちを新たにいたしました。
自分の責任として、これから先、入社し管理職を目指す女性の為にも、自身が環境を変えていかなくてはと「気づく」ことができました。そういった意味で、強い意志と責任を持って取組み、志を高く持って、これからの研修に挑みたいと思います。
アウェアネスの研修で学んだことは常に意識し続けていきたく思っています。

内容については、自分の経験や周辺環境にあてはめることができることだったので理解しやすかったです。知識としては理解できましたが、実行はできていないことが多いので、認識や価値観を変えていかないといけないと感じました。
また、所定の時間内に意見をまとめ伝えることは訓練が必要だと改めて思いました。

アウェアネス（気づき）という意味を今回の講義ではじめて認識、理解しました。気づきのためには、主体性が必要であり、特に「主体的な人は自分の天気を持ち合わせていて、たとえ雨が降ろうが陽が照ろうが関係ない」という言葉に感銘を受けました。
自身の価値観が確立されておらず、他人の価値観に振り回されているということに自覚し、価値観を整えることの重要性に気づきました。今後は気づきを習慣化するために、やる気をもって知識とスキルの向上のために精進し、自身の価値観を整えていきたく思っています。

働きやすい環境をつくるためには、まず自分自身が主体的に動くことが大事とお伺いし本当にその通りだと思いました。
本講義は今の自分に刺さる内容ばかりで、自立性・気づきが足りていなかったと反省したため、今後働く上で3つの要素を意識しながら気づきの習慣をつけていきたいです。
参加者のみなさまの経験もお伺いすることができ大変有意義な時間でした。

日々漫然と過ごしていても気づきは得られないということがよく理解できました。
先日、東京都の出生率が史上初めて1.0を切ったという報道もありましたが、これまで通りの延長線上では企業は生き残っていけないという中で、今後はいかに一人ひとりが夢や目標を持ち、新たな気づきを得ながら社会に貢献していけるかが重要になると感じました。
松田先生から、これから数年後には今10代の子たちと一緒に働くことになるのですよ、というお言葉がありましたが、当たり前のことから、自分の足元のことだけを考えるのではなく、将来に目を向けて行動していかなければいけないということに気付かされました。

女性管理職の割合が平均9.4%ということで低いという印象でした。しかしグループディスカッションの中で業界によって差があり、数値的な調査だけでなく当人間の意見を聞き取ることも大切だと知りました。
女性管理職を増やしたい、女性が活躍できる場をつくるなど、他人事にせず当事者として動き続けなければ何も変わらない。価値観を整えることで夢・目標を持ち、何かに気づくこと。止まらずにアンテナを張り続けることが成長へと繋がることを学びました。
また最後にあったパラダイムでは、日々の営業活動の中でも「私のお客様」がと…ステップ2の段階に位置している分、私たちがというステップ3の人間になれるように、この1年間の研修を通じて成長したいです。

講義を受ける前はアウェアネスという単語の意味自体を知りませんでしたが、講義後はその意味をしっかりと理解することができました。
日々問題意識を持って行動し、その力を養うことの大切さを学びました。また講義の中で印象に残ったのは、自分の今置かれている環境はすべて自分の行動によって起こった結果だというお話でした。環境や人のせいにしてしまうことがありますが、今後そのような状況になったときに冷静に考え、自分の行動をよく考えてみようと思います。常に様々なことについて問題意識をもって考えることにより芽生えた気づきを大切にしたいと思っています。ありがとうございました。

・私自身「アウェアネス」という言葉を知らなかったのですが、研修序盤にこの講義を受けれて良かったと感じました。研修受講を自分事として当事者意識をもって進めています。

・女性活躍を題材にあげられており、自身にとっても他の参加者にとっても身近な話題・議題であったため、理解しやすかったです。

日々のニュースや世の中の「思い込み」に無意識のうちに身を浸してしまっていることに気づいた。つまり、「制度や世の中の仕組みのせいにして、自分たちからは自発的には動いていない」ということに。現状に甘えることなく、常に他を巻き込んで主体的に動くことを忘れてはいけなさと、改めて気づかされた。

ただし、そこで疑問に思うのが、どんなに時代が過ぎても（戦後の男女平等の選挙権付与や、男女雇用機会均等法施行から何年もたっても）、まだ「女性が女性のために動かないといけない」ということには、疑問や諦めを感じざるを得ない。（男性の価値観のアップデートも必要ではないのか？）

なお、「主体性とは自らの価値観に沿って感情と行動を選択すること」「主体性をもつということは自分の人生に対する責任をとること」「自分の価値観に基づき行動すること」ということは、学生時代から今に至るまで日々意識してきたことであった。それが今再認識できて良い機会だったと思う。ただ、それも常に「正しいのか？」意識し続けることも大事である、というのは忘れがちであるため、今回のクラスでアウェアネスできてよかった。

講義前は「アウェアネス」という言葉すら存じ上げていませんでしたし、調べても何のことだろう…と理解もあまり出来ていませんでした。ですが、松田先生はわかりやすい言葉で伝えてくださり、たくさんの気づきや発見をすることが出来ました。人に伝える・意見を受け取ってもらえる力というのはこういう説得力・話力だと勉強になりました。

また、違う業種や職種の女性の方とディスカッションをすることで落ちていた気持ちが少しあがりディスカッションを一緒にしてくれた方にも感謝しております。

そもそもアウェアネスという言葉について今回の講義で初めて聞く言葉であったこともあり、言葉の意味や今回研修で学ぶことを理解するのに時間がかかった。お話を聞いて、自分の実体験に落とし込む事で気づきとはどのようなことか、気づきを得て自分の価値観をアップデートしていく必要があると認識した。

理解はしたが、常に問題意識を持ち、気づきを得るためのアンテナがまだ立っていないと思うため、これから実践をしていくことも難しいと思ったため、今回の講義は難しいと感じた。

今回、女性管理職の割合が低水準であることを再確認したが、キャリアデザインが多様化する中で、女性の管理職割合を一つの指標とする根拠を再考し自分事として理解する必要があると思った。個人的には、配置・配属・評価に性別による格差があるような環境になく（少なくとも実感はなく）、女性の管理職割合が増えることで改善すべきことを想像しにくい。女性であることの固定観念で社会進出できずに困っているような人もいれば、プライベートを重視することにむしろ憧れや高い価値を感じ、望んだライフプランとして実行する価値観もあると思う。現代社会では、男女関係なく、管理職・役員になることの魅力・意義を見出しにくくなっていけば、将来的には、女性の管理職割合といった管理職の内訳より、母数の方がより課題を抱えているのではと思う。個人の意見は、管理職を目指すような人は、男女関係なく、管理職・役員となり何かを成すことで自己実現となるような志を持ち、他者・社会に貢献しようとする人が高い割合を占めたらよいと思うし、自分自身もその一人となるよう努める。アウェアネスの講義の感想は、上述に繋がる。まず自分自身が価値観により形成される志を持って仕事・プライベートに取り組む。特に、仕事においては、会社の利益につながる組織、その組織の中の自己としてあるべき姿を「相互依存」と表現していると理解した。自分にしかできない仕事をする意識に加えて、「自分にしかできないことをチームの他の人もができるようにする」方法を考え取り組むことで、組織として更に先に進める、ということを実践しようと思う。

まず最初に松田先生ご自身の経験についてお話いただきましたが、男性管理職がいない時代に、いろいろと苦労されながらも、強い気持ちを持って前向きに進み、今のポジションを獲得されたことが、同じ女性としてたいへん励みになりました。

今現在、まだまだ女性管理職の割合が低いことについては、私自身も子育てとの両立を考えたときに、今の会社の制度ではそこまでを目指すのはむずかしいと考えてしまっていました。しかし今回の講義の中で松田先生から「自分の環境を変えるためには、自分たちで変えないと変わらない」というお話を伺い、会社が変わるのを待つのではなく、今の自分たちの状況を理解してくれる味方を増やして、会社や社会に対して発言力を高めていくことが必要であると強く感じました。そのために女性管理職の割合を増やしていくことの必要性も再認識しました。

「アウェアネス」という言葉に馴染みがなかったのですが、松田先生の講義の中で次第にイメージとともに理解が深まりました。これから少しでも多くの気づきから自分が成長できるよう、知識、スキル、やる気を意識しながら自分のあり方を考え、前向きに行動していきたいと思いません。